

所属・氏名（ 薬学部 薬学科 氏名：堀 隆光 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) RasGRP2 Attenuates TAGE Modification of eNOS in Vascular Endothelial Cells	共著	2025 年 4 月	Biol. Phrm. Bull. 48(3): 262-266	本研究では、グリセルアルデヒドが血管内皮細胞において細胞死、TAGE の形成、eNOS の TAGE 修飾を誘導することを明らかにした。また、RasGRP2 は TAGE 形成を抑制する保護因子となる可能性を明らかにした。5 頁 Shouhei Miyazaki, Jun-ichi Takino, Kentaro Nagamine, Masayoshi Takeuchi, <u>Takamitsu Hori</u> 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2	(学術論文) RasGRP2 Attenuates Oxygen Deprivation-Induced Autophagy in Vascular Endothelial Cells	共著	2023 年 11 月	Biol. Phrm. Bull. 46(11), 1512-1516	血管内皮機能不全の起因にはオートファジーが関わる。今回、血管の安定化に重要な役割を果たす RasGRP2 が酸素欠乏誘発オートファジーを抑制することにより、血管内皮機能不全に対する保護的役割を果たす可能性を明らかにした。5 頁 Shouhei Miyazaki, Jun-ichi Takino, Kentaro Nagamine, <u>Takamitsu Hori</u> 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3	(学術論文) The Role of RASGRP2 in Vascular Endothelial Cells—A Mini Review	共著	2021 年 10 月	Int. J. Mol. Sci. 22, 11129	血管内皮細胞におけるRASGRP2の発現と役割に焦点を当て、RASGRP2が健康な血管を維持するための保護因子として機能することを概説する。8頁 Jun-ichi Takino, Shouhei Miyazaki, Kentaro Nagamine, <u>Takamitsu Hori</u> 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4	(学術論文) RasGRP2 inhibits glyceraldehyde-derived toxic advanced glycation end-products from inducing permeability in vascular endothelial cells	共著	2021 年 2 月	Sci. Rep. 11, 2959	毒性 AGEs (TAGE) が、複雑なシグナル伝達を介して接着および密着結合を破壊することにより、血管透過性を亢進させることを明らかにした。また、RasGRP2 がその接着結合破壊を保護し、血管透過性亢進を抑制することを明らかにした。10 頁 Jun-ichi Takino, Takuma Sato, Takumi Kanetaka, Kasumi Okihara, Kentaro Nagamine, Masayoshi Takeuchi, <u>Takamitsu Hori</u>
5	(総説) Intracellular Toxic AGEs (TAGE) Triggers Numerous Types of Cell Damage 科研費基盤 C (2024 年度～2026 年度)	共著	2021 年 3 月	Biomolecules 11, 387	本レビューでは、細胞内 TAGE レベルと多くの種類の細胞障害との関係について概説した 19 頁 Masayoshi Takeuchi, Akiko Sakasai-Sakai, Takanobu Takata, Jun-ichi Takino, Yoshiki Koriyama, Chigusa Kikuchi, Ayako Furukawa, Kentaro Nagamine, <u>Takamitsu Hori</u> and Tamihide Matsunaga 共同研究につき本人担当部分抽出不可能